



灯をともし川に流す「たい」。流れゆく姿を参加者全員で見つめました。

祈りを込めて川に流す「たい」

「平谷の流したい」地区住民総出のにぎわい

文政11年7月1日（1828年）、豪雨によって発生した洪水のあと、地域にまん延した伝染病によって多くの犠牲者がいました。この大自然の怒りを静め、犠牲者の靈を鎮めるため、水の神を祭るようになったのが平谷の流したいの由来とされています。

14日の午後5時近くになると、瀬平地区の大井川河敷には、手に手に「たい」の材料を持った住民たちが続々と集まりだします。わらの束、長くて太い竹など、分担して持ち寄られたそれらの材料は、あつという間に小山のようになりました。

人数がある程度出そろった5時過ぎ。いよいよたいの製作が始まります。松明を支える台座作りでは、数人の大人が太い竹を割って棒状に加工。それを円形状に組んで針金で固定します。その外側には何重にもわらを巻き、台座部分が完成します。皆さん毎年やっているだけに手慣れた様子。まるで職人の技を見ているかのようです。完成した台座の上には別の場所で作られた3本の松明が載せられ、「たい」が完成しました。

そのかたわらでは、中川根南部小の児童たちが、ミニたい作りに励んでいました。大人たちのアドバイスを受けながら、見よう見まねで直径2倍ほどのミニたいを作り上げました。

午後6時半、完成した「たい」と「ミニたい」に祈りがささげられ、男衆数人の手で、夕闇せまる大井川へと流されました。ミニたいも同様に、大人と子どもの手によって川に流されました。

この町に起った
新鮮な「ネタ」を皆さん元へ。
この次に登場するのは
あなたかも!?



8月2日から現地入り、4日からのレースに挑戦します。

川高カヌー部がIH出場報告

インターハイ（宮城県）での健闘を誓う

本年度、宮城県で開かれる全国高等学校総合体育大会カヌー競技に出場する川高カヌー部9人が7月25日、出場報告のため佐藤町長の元を訪問しました。

今回がIH初出場の部員が多く「初めての大舞台なので、緊張しないようにレースに臨みたい」といった抱負が多く聞かれました。佐藤町長は「IHは高校生にとって最も大きく、レベルの高い大会です。皆さん精いっぱい挑んでください」と激励を送りました。



減災に向け、今「何」をすべきか

本町商工会主催の危機管理講演会を開催

本町商工会が主催する「危機管理講演会」は7月27日、文化会館で開催されました。講師として招かれた県危機管理部危機報道監の岩田孝仁さんは、本町が東海地震に直面したとき、私たちはどのような行動や対応が必要になるのか、被災後の諸問題解決のためには何が重要なのかについて、過去の経験や独自の調査から分かりやすく講演されました。多くの町民が会場に足を運び、災害に負けないまちづくりを学びました。

川根茶を学び「誇り」に思う

川根茶塾の本年度の開講式と第1回講座

川根茶塾は「川根茶を生産、流通、販売だけではなく、その歴史、文化」など多角的に学ぶ講座。本年度の開講式は7月23日、山村開発センターで開かれ、塾生17人が参加しました。開講式では佐藤公敏塾長が「地域ぐるみの川根お茶街道として、交流の場づくりをしてほしい」と塾生に向けメッセージを送りました。

引き続いて開催された第1回講座では「大井川お茶街道計画」について田中孝治さんが講演をされました。



田中孝治さんが講演「大井川お茶街道計画」
総勢500人以上の学生が参加した美化作戦。全21カ所で展開。

感謝込め、安全願い清掃活動

こんばんわ会が環境美化で汗を流しました

まちづくり有志の会「こんばんわ会」8人は7月3日、小井平一千頭両国間の国道に設置されるカーブミラー50基の清掃と周辺の環境美化活動を実施しました。

汚れの目立つカーブミラーを高圧洗浄機とデッキブラシを使って丹念に水洗い。それに併せ、ミラーにかかる小枝の剪定なども実施しました。

終了後には会員から「観光客を気持ちよく迎えるため、また秋にも実施したい」と意見が聞かれました。



高圧洗浄機を使って1基1基丁寧に清掃しました。

川根地区3中学校（本川根中、中川根中、川根中）と川根高等学校が連携して実施する地域の清掃活動「川根の郷美化作戦」は7月28日、本町内と川根中学校区で実施されました。活動を通して、地域への愛着を深めることが目的。平成14年から始まり、今年で10回目を迎えます。今回から、名称を「川根の郷美化作戦」に改めたこの活動。川根高校206人、本川根中61人、中川根中109人、川根中140人が活動に励みました。

午前8時30分。各活動場所に集合した生徒たちは、草取りやガードレール清掃、ゴミ拾い、集会所の清掃など、それぞれの持ち場で作業に汗を流しました。

千頭駅前では、主に駅前道路のガードレールを清掃しました。たわしや雑巾を手に持ち、ガードレールを丹念に水洗い。みるみるうちに元の白さを取り戻しました。

中高一貫で地域を愛する活動

学生たちによる「川根の郷美化作戦」を展開



Topics

川根本町の まちの話題